

# TEシリーズ 取付マニュアル

ユニット名  
**MB-D+SZ1**

TEシリーズ（以降本製品と記述）の取り付けには、車両部品の取り外しや加工が必要になります。本紙に記載された手順や注意事項にしたがって取り付けてください。

## 危険

適合が明記されている車種以外には取り付けできません。適合車種は、店頭の車種別ハーネス適合表でご確認ください。



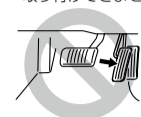
マニュアル車には、取り付けできません。

マニュアル車へ取り付けは、絶対にしないでください。マニュアル車は、冬季にパーキングブレーキの凍結を防ぐため、パーキングブレーキをかけずにギアを「ロー」もしくは「バック」に入れて駐車する場合があります。また、坂道などに駐車する際にもギアを「ロー」もしくは「バック」に入れます。その状態でエンジンスタートを使用すると、無人走行の原因となり、思わぬ大事故につながります。

## 外車 特種用途自動車

外車・特種用途自動車には、取り付けできません。

エンジン始動時に下記のような場合には、取り付けできません。



アクセラ操作が必要な車

2秒

年間を通じて、始動操作をして2秒程度でエンジンのかからない車

雨滴感知ワイパー装着車には、取り付けできません。取り付けると車両故障の原因となります。

**注意** 本製品およびオプション・アダプター類の取り付けには、車両電装に関する専門知識が必要です。車両への取り付けは、お買い求めの販売店またはカーディーラーにご依頼ください。

**注意** 配線作業時は、車両/バッテリーのマイナス端子を外してください。バッテリーを接続したまま作業を行うと、コードをカシメる際やコードの接続時に工具が車体金属部分に触れてショートする恐れがあります。

**注意** 本製品をしまし込む際は、次の点に充分注意してください。  
・チルトステアリングやコラムシフトを可動した時に、ハーネスの噛み込みが起こらないこと。  
・ブレーキペダルやアクセラペダルの操作に本製品が干渉しないこと。

**注意** あまったコード類はショートを防ぐため、必ず絶縁処理してください。また、ワンタッチコネクタやハーネスなどの接続部分には、必ず絶縁テープを巻いてください。

**注意** OBDIIコネクタから車両と通信を行う機器とは併用しないでください。誤作動の原因となります。

**参考** 本製品を他の車両に取り付け直すときは、本体に記憶されているP/N検出データを消去する必要があります。その場合は設定スイッチ2を一旦「フットブレーキ検出」にしてP/N検出データを消去してください。

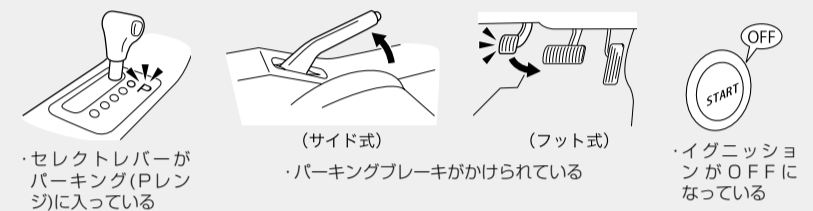
## 付属品一覧

- リモコン 1個
- 本体（メインユニット）1個
- ワンタッチコネクタ 5個
- 危険シール 1枚
- 結束バンド（大）1本
- 結束バンド（小）5本
- イモビ付車対応アダプター（SZ1）1個
- 専用ハーネス（TE109相当品）1セット
- イモビライザー接続コード 1セット
- イモビ付車対応アダプター（SZ1）1個
- 専用ハーネス（TE109相当品）1セット
- イモビライザー接続コード 1セット
- メインユニット接続コード 1セット
- 両面テープ（35×30mm）1枚
- サイドブレーキ検出コード1本
- L端子検出コード1本

## 配線のしかた（ドアロック配線の方法は裏面をご覧ください）

各ハーネスの配線場所は、車種によって異なります。詳しい配線場所については弊社ホームページから車種別配線情報（ビットマニュアル）をご確認ください。

### 1 車両が次の状態になっていることを確認します。



### 2 アンダーダッシュを外して、本体の取り付け位置を仮決めします。

本体はアンダーダッシュ内に取り付けます。運転を妨げないか注意して、おおまかな取り付け位置を決めます。

**参考** まだ固定しないでください。

**メモ** 場所決めのポイント

- しっかり固定できますか？
- 専用ハーネスの長さは足りませんか？（ハーネスが本体に届かないときは、別売のTE201「延長ハーネス50」を使用してください。）
- 本体の設定スイッチは切り替えやすいですか？
- 本体のアンテナ部分が車両の金属部分（ボディやコード類など）から5cm以上、離れていますか？

### 3 車両のボディコントロールモジュールのコネクタを抜き、専用ハーネスをしっかりと接続します。

**注意** 必ず正しいコネクタに接続してください。誤った場所に取り付けると、車両故障の原因になります。

### 4 専用ハーネスの各配線を車両へ配線します。

コード	車両への配線
アースコード(黒)	車両の金属部分を固定している無塗装のボルトに共締めします。
スターター制御コード(紫)	接続端子の保護キャップを外し、車両のボディコントロールモジュール内端子に接続します。
フットブレーキ検出コード(紫)	「車両のフットブレーキを踏んだときに12V」、「離れたときに0V」になるコードへ接続します。

**メモ** 詳しい配線場所はビットマニュアルを参照

**注意** アースが不完全のときは動作不良の恐れがあります。アースは正しく取り付けてください。

**注意** オーディオナビゲーションなど、他の電装品と同じボルトにアースを取り付けしないでください。機器が誤動作したり、オーディオのメモリーが消失する恐れがあります。

### 5 13Pコネクタを本体にしっかりと差し込みます。

### 6 イモビ付車対応アダプター（SZ1）を取り付けます。

1) イモビ付車対応アダプターとメインユニットを、メインユニット接続コードで接続します。

2) イモビライザー接続コードのCAN通信コード、エンジンSWコードを、付属のワンタッチコネクタを使用して車両へ配線します。

**メモ** 詳しい配線場所はビットマニュアルを参照ください。

コード	車両への配線
CAN通信①コード(赤)	車両のCAN通信コード(CAN H)へ配線
CAN通信②コード(白)	車両のCAN通信コード(CAN L)へ配線
エンジンSW①コード(紫)	車両のエンジンスイッチ裏のエンジンスイッチコードへ配線
エンジンSW②コード(緑)	車両のエンジンスイッチ裏のエンジンスイッチコード(上記とは別のコード)へ配線

3) 必要に応じて、イモビライザー接続コードのオレンジコード、始動判断コードを、車両へ配線します。

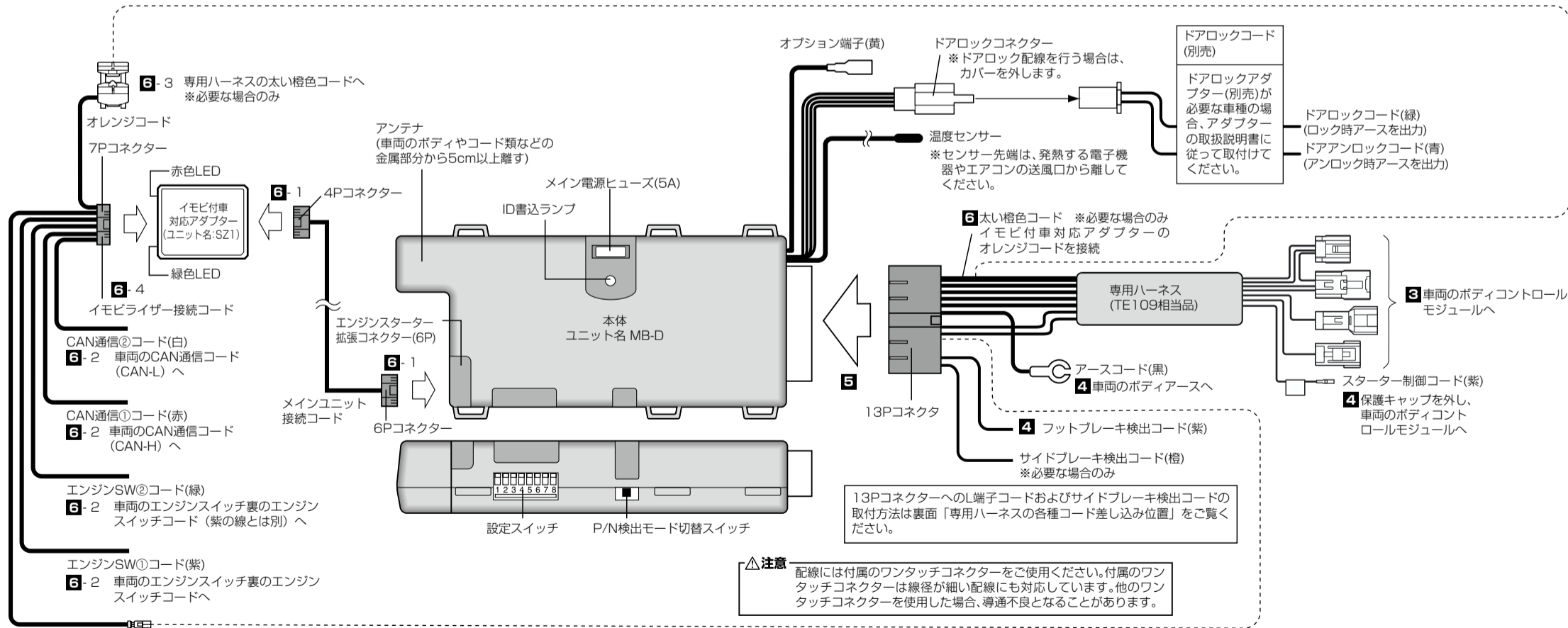
**メモ** 車種によって配線が必要な車種と不要な車種があります。詳しくはビットマニュアルを参照ください。

コード	車両への配線
オレンジコード(橙)	コードについているワンタッチコネクタを、専用ハーネスの太い橙色コードへ配線 ※配線が不要な車種の場合、ワンタッチコネクタ部分を絶縁処理してください。
始動判断コード(茶)	キャップを外して専用ハーネスの始動判断コード差込口へ接続

4) イモビライザー接続コードの7Pコネクタを、イモビ付車対応アダプターへ接続します。

5) すべての配線が完了した状態で、イモビ付車対応アダプターの7Pコネクタ差込口の左横奥にある赤色LEDが点灯していることを確認してください。

**メモ** LEDが点灯していない場合は、各配線の接続および本体の専用ハーネスの接続を確認してください。



**注意** 配線には付属のワンタッチコネクタをご使用ください。付属のワンタッチコネクタは線径が細い配線にも対応しています。他のワンタッチコネクタを使用した場合、導通不良となることがあります。

始動判断コード(茶)  
**6-3** キャップを外して専用ハーネスの始動判断コード差込口へ。 ※必要な場合のみ（裏面「専用ハーネスの各種コード差し込み位置」参照）

ハーネスの取り付けが完了したら、裏面を参照して動作確認と本体の設定を行ってください。（ドアロック配線を行う場合も裏面参照）

## 動作確認と本体の設定

車両の特性や使用環境に合わせて本体の設定をする必要があります。また、ドアロック配線を行う場合は、**7**～**8**の作業を行ってください。

### 1 イモビ付車対応アダプター(SZ1)の初期設定を行います。

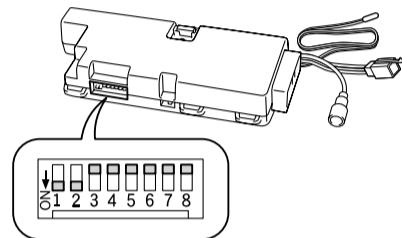
- すべての配線が完了した状態で、イモビ付車対応アダプターの赤色LEDが点灯していることを確認してください。
- 車両のイグニッションをONにすると(\*)、純正キーのイモビライザーデータを読み込みます。読み込みが完了するとイモビ付車対応アダプターの赤色LEDが3回点滅した後、消灯します。

※ エンジンはかけないでください。

※メモ 赤色LEDが消灯しない場合  
イモビ付車対応アダプターから、メインユニット接続コードを抜き、30秒経過後、再び接続し直し、車両のイグニッションをONにしてください。  
それでも消灯しない場合は、テスターを使用して、CAN通信コードかオレンジコードが正しく接続されているか確認してください。  
車両のイグニッションをACCやONにしても緑色LEDが点滅しない場合は、CAN通信コードの配線が正しく配線されていません。

- 車両イグニッションをOFFにします。

### 2 用途に応じて、設定スイッチを切り替えます。



#### 設定スイッチ

スイッチNo.	機能	OFF	ON
1	パーキングブレーキ検出	検出する	検出しない
2	フット/PN切替	フット	P/N
3	IG2制御	通常	特殊
4	L端子配線	なし	あり
5	未使用	-	-
6	グロータイム	8秒	5秒
7	OP端子出力	A	B
8	ID書込	通常	書込

は工場出荷時設定です。

※メモ 詳しい設定内容は、取扱説明書の「取り付け時の設定」を参照してください。

※メモ 本製品の適合車種は、車両の仕様によりP/N検出が行えません。

### 3 本体の設定スイッチ2を「フット/PN切替」を「フット(上側)」にしてください。

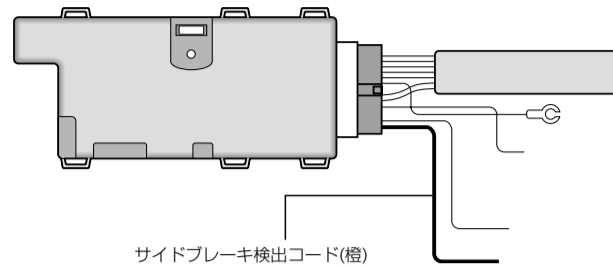
### 4 動作を確認します。

- 車両のセレクトレバーを「P」にします。
- イグニッションをOFFにし、パーキング(サイド)ブレーキをかけます。  
(純正スマートキーを車から離れた場所へ移動させます。)
- リモコンでエンジンをかけ、エンジンが正常に始動するか確認します。  
エンジンがかからないときは、取扱説明書の「エンジンスターター機能が作動しないとき」を参照して対処してください。

### 5 必要に応じて、市販のワンタッチコネクタで、サイドブレーキ検出コード(橙)を車両の次のコードに取り付けます。

※メモ 配線場所はビットマニュアル参照

※メモ 寒冷地などでパーキング(サイド)ブレーキをかけずに駐車する場合は、この作業は不要です。



サイドブレーキ検出コード(橙)

### 6 サイドブレーキ検出コード(橙)を取り付けた場合は、設定スイッチ1「パーキングブレーキ検出」を「検出する(上側)」にします。

### 7 ドアロック機能を使用するときは、車両のドアロックの制御方式に応じて配線します。

△注意 車種によってはドアロック機能が使用できないことがあります。店頭の車種別ハーネス適合表、または当社ホームページで確認してください。適合しない車両に配線すると、車両故障や不具合の原因になります。

#### マイナス制御車(TE202適合車種)の場合

- 別売のドアロックコード(TE202)の緑コードと青コードを車両に取り付けます。

※配線場所はビットマニュアル参照

- ドアロックコードのコネクタをしっかりと本体のドアロックコネクタに差し込みます。

#### マイナス制御以外の車の場合

当社ホームページや店頭の車種別ハーネス適合表を参照して、指定されたドアロックアダプターを使用してください。

△注意 マイナス制御以外のアダプターを取り付ける場合は、取付方法が特殊です。必ずアダプター付属の取扱説明書とビットマニュアルを参照し、記載されている方法で配線してください。

#### 取り付け後の動作確認

車両のドアをすべて閉めて、ドアロック機能の動作を確認します。

### 8 ドアロック配線を行った場合は車両のドアをすべて閉めて、ドアロック機能の動作を確認します。

### 9 本体を付属の結束バンド(大)でアンダーダッシュ内にしっかりと固定し、余ったコード類を付属の結束バンド(小)で運転の妨げにならないように束ねます。

### 10 付属の危険シールを、エンジンルーム内の目立つところに貼り付けます。



これで本体の取り付けと設定は完了です。

#### 参考

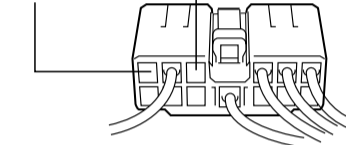
車種別ビットマニュアル(取り付け情報)もご覧ください。  
ビットマニュアルの参照方法は、店頭の車種別ハーネス適合表をご覧ください。  
ただし、ビットマニュアルが用意されていない車種もございます。また、ビットマニュアルはオプションなどすべての配線を網羅するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

#### ワンタッチコネクタの使いかた

- 1) 本製品のコードを差し込む
- 2) 車体側のコードを通す
- 3) プライヤーなどで金具を押し込む
- 4) カバーをして絶縁テープを巻く

#### 専用ハーネスの各種コード差し込み位置

サイドブレーキ検出コード(橙)はここに  
始動判断コード(茶)またはL端子検出コード(茶)はここに(※)



※ 車種によって使用するコードが異なります。詳しくはビットマニュアルをご覧ください。

コードの差し込みかたは次のとおりです。

- 1) 千枚通しなど先のとがったものを使ってロックピンを外します。
- 2) カシメ部を下にして指定の位置にコードを差し込みます。
- 3) ロックピンを元に戻します。

#### 取り付けに関するお問い合わせ先

カーメイトサービスセンター  
Tel:(03)5926-1216(代表)  
Fax:(03)5926-1218